

子どもの歌の楽曲傾向と歌唱表現についての考察 —保育現場で使用されている楽曲の分析を通して—

津 上 崇¹

Takashi TSUGAMI : A Study of Song Trends and Singing Expressions in Children's Songs
—Through Analysis of Music Used in Childcare Settings—

子どもの歌は多種多様であり、保育現場において歌唱活動はなくてはならないものである。しかしながら子どもの成長を考慮せず楽曲の選択をあやまると音程が取れない、どなってしまう、リズムが取れないなどの問題が生じる。発声器官が未熟な幼児に無理することなく楽しく歌えるよう選曲が大切と考え、楽曲の分析をすることで子どもに対して合う楽曲を考察した。このことから、教材選びおよび環境作りが保育者にとっては必要不可欠だと考えた。

キーワード：子どもの歌 童謡 わらべうた 表現 音楽

1. はじめに

現在、子どもたちが歌っている楽曲はわらべうた、童謡、唱歌、テレビ番組やアニメの主題歌など非常に多様である¹⁾。幼稚園・保育園・こども園などの保育現場では様々な活動の中で歌うことが欠かせず、幼児にとってもこの行為は集団において初めての音楽活動であるといつて過言ではない。幼児期は音楽に触れ楽しむ時期でもあると同時に、歌唱活動は語彙力やコミュニケーション力の向上にも影響を与えると考えられる。

子どもの音域は声帯や呼吸などの発声器官の発達と密接である。子どもの歌をただの教材として年齢に関係なく選曲し単に歌うという行為は、発声をコントロールしにくいいため正確な音を出すことが難しく、音外れや不明瞭の発音が多くなる。その行為が重なれば、子どもの声帯にも悪影響を及ぼす²⁾だけでなく、歌うことに対する興味を喪失し歌うことがストレスとなり、音楽への関心の低下につながる

りかねない。これらの理由から、楽曲選曲が、子どもたちが楽しみながら歌う環境づくりに大きく関係していると考えられる。そこで本稿では、様々な子どもの歌を音域やリズムなどから楽曲分析を行い、どのような歌唱表現が良いのかを考察していく。

2. 楽曲分析

保育現場で歌われている子どもの歌は園によっても様々である。本研究の楽曲提供は岡山県倉敷市にある学校法人みのり学園「みのり幼稚園」^{注1)}に協力していただいた。本園は保育の中に年間歌唱計画を用い様々な歌唱指導、器楽演奏、リトミックを取り入れ個性豊かな情操教育に取り組んでおられる。歌唱教材も季節に応じて年齢ごとの楽曲を扱われており、それらの楽曲を分析することで子どもに合った楽曲とはどのようなものかについて示唆を得られると考えた。

曲の分析に当たっては、表1(年少組:3歳児)、表2(年中組:4歳児)、表3(年長組:5歳児)で使用されている年齢別の楽曲を「調性」・「拍子」・「テンポ」・「音域」・「特徴的なリズム」³⁾について調べた。

1 鳥取短期大学幼児教育保育学科

表1 年少組で主に歌われる楽曲

月	曲名	調	拍子	テンポ	音域	特徴的なリズム	その他
4月	チューリップ	ハ長調	2/4	♩ = 92	f1-d2 長6度	8分音符と4分音符でワンプルなリズム	
	ちようちよう	ハ長調	2/4	♩ = 84	f1-c2 完全5度	ドイツ風	
	手をたたきましよう	ハ長調	4/4	♩ = 120	c1-c2 完全8度	歌詞に合わせて動作を入れる	
	あくしゅでこんにち	ニ長調	2/4	♩ = 108位	d1-h1 長6度		
5月	かわいいかくれんぼ	ハ長調	2/4	♩ = 104	c1-c2 完全8度	スキップのリズム	
	先生とおともだち	ハ長調	4/4	♩ = 112	h-c2 長9度	スキップのリズム	
	こいのぼり	ニ長調	3/4	♩ = 120	d1-d2 完全8度	同じリズムパターンが多用	
	おかあさん	ニ長調	4/4	♩ = 92位	d1-d2 完全8度	母と子の掛け合い、シンコペーション	
6月	おへんとうばこのうた	ハ長調	4/4	♩ = 134	自由な高さ	からべうた	
	いちご	ハ長調	2/4	♩ = 84位	c1-d2 長9度	様々なリズムが出てくる	
	ことりのうた	ニ長調	4/4	♩ = 104	d1-d2 完全8度	スタックで鳴き声をまねてる	
	かえるの合唱	ハ長調	2/4	♩ = 76	f1-d2 長6度	輪唱、鳴き声を楽しく歌う	
7月	かたつむり	ニ長調	2/4	♩ = 92	d1-d2 完全8度	同じリズムの繰り返し	
	時計のうた	ニ長調	4/4	中位の速さで	d1-d2 完全8度	スタックで多用し時計の音を表現	
	すてきなババ	ハ長調	2/4	♩ = 92	c1-c2 完全8度	ババ、呼びかけから始まる	
	雨だれぼったん	ハ長調	2/4	♩ = 132	c1-c2 完全8度	オノマトペ、簡単なリズム	
8月	おつかいありさん	ニ長調	2/4	Allegretto	d1-d2 完全8度	弾んだリズムがアリアの出てた様子も表している	
	キラキラ星	ハ長調	2/4	Moderato	f1-d2 長6度	フランス民謡(童謡)	
	海	ハ長調	3/4	♩ = 88	d1-d2 完全8度	幼男にとってはリズムが少し難しめ	
	きれいな魚	ハ長調	2/4	♩ = 92	c1-c2 完全8度	順次進行と踏躰進行が交互	
9月	とんぼのめがね	ハ長調	2/4	♩ = 112	c1-c2 完全8度	1~3番で時間の経過を表現	
	こおろぎ	ハ長調	2/4	♩ = 76	c1-c2 完全8度	16分音符で虫の鳴き声をかわいく表現	
	大きな栗の木の下で	ハ長調	4/4	♩ = 104	c1-c2 完全8度	手遊びを併せることもある	
	どんぐりころころ	ハ長調	2/4	♩ = 60	c1-c2 完全8度	16分音符でオノマトペを表現	
10月	まつぼっくり	ハ長調	2/4	♩ = 84	c1-c2 完全8度	オノマトペ	
	やきいもグーチャーパー	ハ長調	4/4	たのしく	c1-d2 長9度	歌の中にじゃんけんが含まれる	
	山の音楽家	ハ長調	2/4	♩ = 92	d1-d2 完全8度	アウフタクト、楽器の音を歌で奏す	
	りんごとみかん	ハ長調	4/4	♩ = 92	c1-c2 完全8度	オノマトペの歌詞	
11月	くだもの列車	ハ長調	4/4		c1-c2 完全8度	幾つか違った曲があるが、高井道雄作 曲。こわせたまま作詞を使用	
	もみじ	ニ長調	2/4	♩ = 104	d1-d2 完全8度	あかいあかいもみじのは~	
	きくの花	ハ長調	2/4	♩ = 84~96	c1-c2 完全8度		
	いちようのはっぱ	ニ長調	4/4	♩ = 72	d1-d2 完全8度	3拍子や4拍子進行で落ちる様子 を表現	
12月	たきび	ハ長調	2/4	♩ = 104	c1-c2 完全8度	1小節を1つに感じる	
	おしくらまんじゅう	ハ長調	4/4		自由な高さで	動きをいれたからのあえびうた	
	たこの歌	ハ長調	2/4	♩ = 112	f1-d2 長6度	全体的に音が高い	
	やぎさんゆうびん	ハ長調	2/4	♩ = 120	c1-d2 長9度	8分音符がほとんどで歌いやすい	
1月	雪	ニ長調	2/4	たのしくはすんで	d1-h1 長6度	♩♩ のリズムと調直しやすい	
	雪のこぼろ	ハ長調	2/4	♩ = 63	c1-c2 完全8度	「いとまき」の歌詞もある	
	コンコンクシャンの歌	ハ長調	2/4	かわいらしく	c1-d2 長9度	動物の様子をマスクの形で表している	
	ゆげの朝	ニ長調	2/4	げんきに	d1-d2 完全8度	冬の情景	
2月	子どもは風の子	ハ長調	3/4		d1-d2 完全8度	同じリズムパターンでの繰り返しが多い	
	春	変長調	2/4	♩ = 80	d1-d2 完全8度	音の高低差がある	
	春よ来い	ハ長調	2/4	♩ = 90	cis1-cis2 完全8度		
	思い出のアルハム	ハ長調	6/8	Andante	c1-c2 完全8度	卒業式の時期定番ソング	

表2 年中組で主に歌われる楽曲

月	曲名	調	拍子	テンポ	音域	特徴的なリズム	その他
9月	とんぼのめがね	ハ長調	2/4	♩ = 112	c1-c2 完全8度	♩ ♩	1-5番で前節の経過を表現
	こおろぎ	ハ長調	2/4	♩ = 76	c1-c2 完全8度	♩ ♩	16分音符で虫の鳴き声をかわいく表現
	虫の声	ハ長調	2/4	♩ = 76-84	c1-c2 完全8度	♩ ♩	オノマトペ表現
	大きな栗の木の下で	ハ長調	4/4	♩ = 104	c1-c2 完全8度	♩ ♩	手遊びを付けることもある
	どんぐりころころ	ハ長調	2/4	♩ = 60	c1-c2 完全8度	♩ ♩	オノマトペ表現
10月	まつぼっくり	ハ長調	2/4	♩ = 84	c1-c2 完全8度	♩ ♩	
	やさしいもぐり	ハ長調	4/4	たのしく	c1-d2 長9度	♩ ♩	歌の中にじゃんけんが含まれる
	山の音楽家	ト長調	2/4	♩ = 92	d1-d2 完全8度	♩ ♩	アウフタクト、楽園の扉を歌で開く
	りんごごみかん	ハ長調	4/4	♩ = 92	c1-c2 完全8度	♩ ♩	オノマトペの歌詞
	くだもの列車	ハ長調	4/4		c1-c2 完全8度	♩ ♩	幾つか違った曲があるが、高井建雄作曲、こわせたまま作詞版を採用
11月	もみじ	ニ長調	2/4	♩ = 104	d1-d2 完全8度	♩ ♩	あかいあかいもみじのは～
	さくの花	ハ長調	2/4	♩ = 84-96	c1-c2 完全8度	♩ ♩	
	いちやうのはっぱ	ニ長調	4/4	♩ = 72	d1-d2 完全8度	♩ ♩	3連符や4度跳躍進行で葉が落ちる様子を表現
	たきび	ハ長調	2/4	♩ = 104	c1-c2 完全8度	♩ ♩	1小節を1つに感じる
12月	おしくらまんじゅう	わらべうた	4/4		自由な高さで	♩ ♩	動きをいれながらのあそびうた
	北の国から	ハ長調	4/4	♩ = 126	c1-c2 完全8度	♩ ♩	サンタさんの来る様子をオノマトペで表現
	たこの歌	ハ長調	2/4	♩ = 112	f1-d2 長6度	♩ ♩	全体的に音が高い
	やぎさんゆうひん	ハ長調	2/4	♩ = 120	c1-d2 長9度	♩ ♩	8分音符がほとんどで歌いやすい
1月	雪	ニ長調	2/4	たのしくはずんで	d1-h1 長6度	♩ ♩	♩ ♩ のリズムと調しやすい
	雪のペンキ屋さん	ハ長調	2/4	♩ = 92	c1-c2 完全8度	♩ ♩	
	コンコンクタンクソンの歌	ハ長調	2/4	かわいらしく	c1-d2 長9度	♩ ♩	動物の様子をマスクの形で表している
2月	ゆげの朝	ニ長調	2/4	げんきに	d1-d2 完全8度	♩ ♩	冬の情景
	走るの大好き	変口長調	4/4	活発に	b-d2 長10度	♩ ♩	走る様子のオノマトペ
	春	変口長調	2/4	♩ = 80	d1-d2 完全8度	♩ ♩	音の高差がある
3月	春よ来い	イ長調	2/4	♩ = 90	cis1-cis2 完全8度	♩ ♩	
	悪い出のアルパカ	ハ長調	6/8	Andante	c1-c2 完全8度	♩ ♩	右楽譜の時間定速ソング

月	曲名	調	拍子	テンポ	音域	特徴的なリズム	その他
	チュリーリップ	ハ長調	2/4	♩ = 92	f1-d2 長6度	♩ ♩	6分音符と8分音符でリップを表現
	ちょうちん	ハ長調	2/4	♩ = 84	f1-c2 完全5度	♩ ♩	トイックリズム
4月	手をたたきまじょう	ハ長調	4/4	♩ = 120	c1-c2 完全8度	♩ ♩	歌詞に合わせて動作を入れる
	あくしゅでこんごら	ニ長調	2/4	♩ = 108位	d1-h1 長6度	♩ ♩	
	犬のおまわりさん	ニ長調	4/4	♩ = 104	d1-d2 完全8度	♩ ♩	物音が音の高さで表現されている
	先生とおともだち	ハ長調	4/4	♩ = 112	h-c2 長9度	♩ ♩	スキップのリズム
	こいのぼり	ニ長調	3/4	♩ = 120	d1-d2 完全8度	♩ ♩	
	おかあさん	ニ長調	4/4	♩ = 92位	d1-d2 完全8度	♩ ♩	母と子の掛け合い、シンコペーション
5月	めだかの学校	ニ長調	4/4	♩ = 108位	d1-d2 完全8度	♩ ♩	
	おべんとうばこのうた	わらべうた	4/4	♩ = 134	自由な高さ	♩ ♩	わらべうた
	いちご	ハ長調	2/4	♩ = 84位	c1-d2 長9度	♩ ♩	様々なリズムパターンが出てくる
	ことりのうた	ニ長調	4/4	♩ = 104	d1-d2 完全8度	♩ ♩	スタックで鳴き声をまわらせる
	かえるの合唱	ハ長調	2/4	♩ = 76	f1-d2 長6度	♩ ♩	輪唱、鳴き声を楽しく歌う
	かたつむり	ニ長調	2/4	♩ = 92	d1-d2 完全8度	♩ ♩	同じリズムの繰り返しが多い
	おたまじゃくし	ニ長調	2/4	♩ = 100	d1-d2 完全8度	♩ ♩	同じリズムの繰り返しが多い
6月	時計のうた	ニ長調	4/4	中位の速さで	c1-c2 完全8度	♩ ♩	スタックを多用し時計の音を表現
	すてきなベバ	ハ長調	2/4	♩ = 92	c1-c2 完全8度	♩ ♩	ベバ、呼びかけから始まる
	雨ふり	ニ長調	2/4	♩ = 84	d1-d2 完全8度	♩ ♩	5番まで、物語性
	虹のむこうに	ハ長調	4/4	Allegro Moderato	h-c2 完全12度	♩ ♩	
	キラキラ星	ハ長調	2/4	Moderato	f1-d2 長6度	♩ ♩	フランス民謡 (童謡)
	おつかいありさん	ニ長調	2/4	Allegretto	d1-d2 完全8度	♩ ♩	弾んだリズムがアリアの度での様子を表現している
7月	ありさんのお話	ハ長調	3/4		c1-d2 長9度	♩ ♩	知どの小節で同じリズムが使われる
	海	ト長調	3/4	♩ = 88	d1-d2 完全8度	♩ ♩	幼児にとっては跳躍が少し難しすぎる
	きれいな魚	ハ長調	2/4		c1-c2 完全8度	♩ ♩	順次進行と跳躍進行が交互
	ヤットコ屋外み	ト長調	4/4	♩ = 126	d1-d2 完全8度	♩ ♩	同じリズムや音型が使われる

表3 年長組で主に歌われる楽曲

月	曲名	調	拍子	テンポ	音域	特徴的なリズム	その他
10月	大きな栗の木の下で	ハ長調	4/4	♩ = 104	c1~c2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩	手遊びを付けることもある
	どんぐりころころ	ハ長調	2/4	♩ = 60	c1~c2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	
	まつぼっくり	ハ長調	2/4	♩ = 84	c1~c2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩	
11月	やさしいもぐりーチャーバー	ハ長調	4/4	たのしく	c1~d2 長9度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	歌の中にじゃんけんが含まれる
	山の音楽家	ト長調	2/4	♩ = 92	d1~d2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	アウフタクト、楽譜の音を歌で復す
12月	葉山子	ハ長調	4/4	Allegretto	f1~d2 長6度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	同じリズムパターン繰り返し
	まっかな秋	ハ長調	4/4	♩ = 120	c1~d2 長9度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	
	きくの花	ハ長調	2/4	♩ = 84-96	c1~c2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	
1月	いちようのはっぱ	二長調	4/4	♩ = 72	d1~d2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	3連符や長踏進行で音が落ちる様子 を表現
	はたらくるま	ト長調	4/4	Moderato last Tempo	h~h1 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	車の名前をセリフが入る
2月	たきび	ハ長調	2/4	♩ = 104	c1~c2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	1小節を1つに感じる
	おしくらまんじゅう	わらべうた	4/4		自由な高さで	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	動きをいれながらのあそびうた
	ずいずいずいころばし	わらべうた	4/4	♩ = 120	e1~c2 長6度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	あそびうた
1月	とうりやんせ	ハ長調	4/4	Allegretto	e1~d2 短7度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	からべ歌、あそびうた
	たこの歌	ハ長調	2/4	♩ = 112	f1~d2 長6度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	全体的に音が高い
	やぎさんゆうびん	ハ長調	2/4	♩ = 120	c1~d2 長9度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	8分音符がほとんどで歌いやすい
2月	雪	二長調	2/4	たのしくはずんで	d1~h1 長6度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	♩ ♩ のリズムと連同しやすい
	雪って長くつすきだつて	ハ長調	4/4	♩ = 120~132	d1~c2 短7度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	オノマトペ
	コンコンクシャンの歌	ハ長調	2/4	かわいらしく	c1~d2 長9度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	動物の様子をマスクの形で表している
3月	ずうじのうた	ハ長調	2/4	♩ = 104	c1~c2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	1~10の数字をペーパーサートでやるの もよい
	月火水木金土日のうた	ハ長調	4/4	♩ = 120位	c1~c2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	曜日の名文字を当てはめた歌詞
	手のひらを太陽に	変イ長調	4/4		b~d2 長10度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	
3月	思い出のアルバム	ハ長調	6/8	Andante	c1~c2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	各楽式の時期を振り返る
	一年生になったら	ハ長調	4/4	Allegretto	c1~d2 長9度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	♩ ♩ のリズムでウキウキ感を表す
	ドキドキドン！一年生	変イ長調	4/4	Allegro	b~c2 長9度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	
	君が代	巻短調	4/4		d1~d2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	演奏からよめる、国歌

月	曲名	調	拍子	テンポ	音域	特徴的なリズム	その他
4月	きょうからあなただち	ハ長調	2/4	Moderato	f1~d2 長6度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	♩が中心のリズムで取りやすい
	たんぽぽ	変イ長調	4/4	♩ = 126	b~d2 長10度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	知りがいでわたりやすい
	めだかの学校	二長調	4/4	♩ = 108位	d1~d2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	
5月	お花がわらった	ハ長調	2/4	♩ = 74位	c1~c2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	お花がわらった~同じ歌詞が繰り返さ れる
	先生とおともたち	ハ長調	4/4	♩ = 112	h~c2 長9度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	スキップのリズム
	山のワルツ	変イ長調	4/4	♩ = 108位	b~es2 完全11度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	ワルツのリズム、音域が広い
6月	こいのぼり	二長調	3/4	♩ = 120	d1~d2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	
	おかあさん	二長調	4/4	♩ = 92位	d1~d2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	母と子の掛け合い、シンコペーション
	ジャングルジムのうた	二長調	4/4	d1~e2 長9度	d1~e2 長9度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	ジャングルジムに登場する音も徐々に 上がる
7月	いちご	ハ長調	2/4	♩ = 84位	c1~d2 長9度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	繰り返リズムが出てくる
	でんとおむし	ハ長調	2/4	♩ = 104	d1~c2 短7度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	
	つばめになって	ハ長調	2/4	♩ = 100	c1~d2 長9度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	後奏が長くダンスをするのによい
8月	かえるの合唱	ハ長調	2/4	♩ = 76	f1~d2 長6度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	輪唱、鳴き声を楽しく歌う
	大きな古時計	ト長調	4/4	♩ = 120	h~d2 長10度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	アウフタクト、オノマトペ
	ババとぼく	ト長調	4/4	♩ = 120位	d1~c2 短7度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	シンコペーション
9月	雨ふり	二長調	2/4	♩ = 84	d1~d2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	5番まで、物置になっている
	あめふりくまのこ	二長調	2/4	♩ = 112位	h~d2 長10度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	5番まで、物置になっている
	虹のむこうに	ハ長調	4/4	Allegro Moderato	g~e2 完全12度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	
7月	せみの歌	ハ長調	4/4	♩ = 120位	c1~d2 長9度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	4度跳躍や高音での長音がある
	なみとかいから	ハ長調	4/4	♩ = 90	c1~c2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	お話をするように
	海のそこには青いうち	ハ長調	2/4	♩ = 96位	c1~e2 長10度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	お話をするように
8月	アイスクリームの歌	ハ長調	4/4	少し遅めの行進曲	g~c2 長10度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	アウフタクト、オノマトペ
	ヤッホッホ夏休み	ト長調	4/4	♩ = 126	d1~d2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	同じリズムや音型が繰り返る
	とんぼのめがね	ハ長調	2/4	♩ = 112	c1~c2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	1~3番で曲調の経過を表現
9月	こおろぎ	ハ長調	2/4	♩ = 76	c1~c2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	16分音符で虫の鳴き声をかいかく表現
	虫の声	ハ長調	2/4	♩ = 76-84	c1~c2 完全8度	♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩	オノマトペ表現

表4 行事のうた

月	曲名	調	拍子	テンポ	音域	特徴的なリズム	その他
4月	おはようのうた	ニ長調	2/4		d1~a1 完全5度		5度内の音域、同じリズム繰り返し
	おかえりのうた	ハ長調	4/4	♩ = 126	c1~c2 完全8度		スキップのリズム、繰り返し
	にゅえんのうた	ハ長調	3/4	♩ = 96	c1~c2 完全8度		音が徐々に上がり気持ちの高揚を表している
5月	さよならマーチ	ト長調	4/4		cis1~d2 増5度		アフタービート
6月	歯をみがきましょう	ハ長調	2/4	♩ = 104	c1~d2 長9度		オノマトペ
	みずあそび	ト長調	2/4	♩ = 104	d1~d2 完全8度		数字とオノマトペが歌詞に入っている
	しゃぼんだま	ニ長調	2/4	♩ = 72	a~d2 完全11度		8分音符が多様でとりやすい
7月	たなばたさま	ヘ長調	2/4	♩ = 126	c1~c2 完全8度		単純のリズムで覚えやすい
9月	つき	ヘ長調	2/4	♩ = 88	f1~d2 長6度		文部省唱歌
	バスごっこ	ヘ長調	4/4	♩ = 138	c1~d2 長9度		手遊びや掛け声が入る
10月	うんどうかい	ヘ長調	2/4	♩ = 108~112	c1~d2 長9度		幾つかの曲があるが作曲本多・作詞増田とし編を使用
12月	もちつき	ヘ長調	4/4	♩ = 66位	c1~d2 長9度		オノマトペ
	あわてんぼうのサンタクロース	ハ長調	4/4 (途中から2/2)	♩ = 104	c1~d2 長9度		アフタクト、オノマトペ、テンポの変化、5番まで
	おしょうがつ	ヘ長調	4/4	♩ = 126	c1~c2 完全8度		口語体を使っての曲作りが行われ始めた時代
1月	あわあわ手洗いのうた	ホ長調	4/4	♩ = 192	e1~fis2 長9度		ハンドソープのCMソング、音域広く音程も高いので、伴奏なしで自由な調で歌うことも可能
2月	豆まき	ニ長調	2/4	♩ = 100	d1~d2 完全8度		豆の音をオノマトペで表現
3月	うれしいひな祭り	ハ短調	2/4	♩ = 69	c1~d2 長9度		唯一の短調曲
	おわかれのうた	ト長調	4/4	♩ = 89	h~c2 短9度		小節の1拍目が休符でタメがある
	にゅえんのうた	ハ長調	3/4	♩ = 96	c1~c2 完全8度		音が徐々に上がり気持ちの高揚

またみのり幼稚園では年齢に関係なく日常的に多くのわらべ歌や手遊び歌も歌われているが、本稿では園が楽曲一覧としてまとめているものと、共通に歌われる行事における楽曲を中心に分析をおこなった(表4)。なお分析に使用する楽譜は主に保育者養成校で使用している教則本や保育現場で使用している楽譜を用いた⁴⁾⁵⁾⁶⁾⁷⁾⁸⁾⁹⁾¹⁰⁾¹¹⁾¹²⁾¹³⁾¹⁴⁾¹⁵⁾¹⁶⁾¹⁷⁾¹⁸⁾¹⁹⁾²⁰⁾。

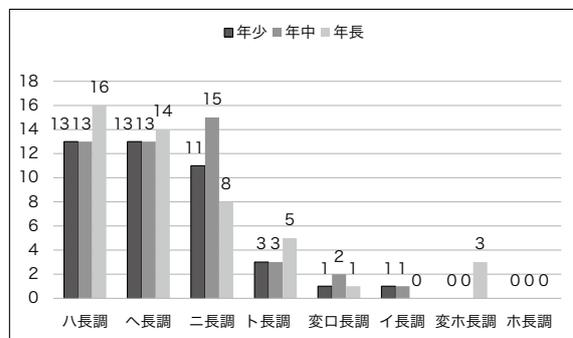


図1 調性比較 (曲数)

(1) 調性

ここでは分析表の中でも出現数が多い調から見ていく。年少、年中、年長、行事の歌を調ごとに図1はそれぞれ年齢組の曲数を合計すると、ハ長調(42曲)、ヘ長調(40曲)、ニ長調(34曲)、ト長調(11曲)、変ロ長調(4曲)、イ長調(2曲)、変ホ長調(3曲)、ホ長調(0曲)であった。

その他に行事の歌はハ長調(5曲)、ヘ長調(7曲)、ニ長調(3曲)、ト長調(3曲)、変ロ長調(0曲)、イ長調(0曲)、変ホ長調(0曲)、ホ長調(1曲)

であった。

図2のようにハ長調は調号もなく、また図3のヘ長調も調号がb1つなので理解しやすく、保育者がピアノを演奏するにも比較的容易に取り組むことができる調である。また図4のようにニ長調は調号が#2つとこちらも比較的少なく、吉松(2014)は「白鍵だけを弾くより黒鍵を含む調のほうが弾きやすい～中略～人間の手の指の並びが「弧」を描いているためで～後略」²¹⁾と述べているようにニ長調はハ長

調のすぐ近くの調であることと、指のポジションの移動や手の形から白鍵ばかりのハ長調より指の動きがスムーズに行われ弾きやすいのである。同じ楽曲でも教材によっては、比較的簡単に弾ける指運びのかたつむり、ぶんぶんぶん、ちょうちょうなどハ長調やヘ長調ではなくニ長調を用いているものもある。さらには調性には色があり特性があるともいわれ、何百年も前の教会音楽全盛の時代からニ長調は輝かしい、栄光に満ちた調²²⁾とされており、現在も私たちはポジティブで軽快な音色と感ずることから、子どもの歌や童謡の調性にこれらが作曲者から選ばれるのも一考する余地がある。



図2 ハ長調



図3 ヘ長調



図4 ニ長調

子どもの歌は多くが長調であり、比率的にも短調の楽曲が少ないことが知られているが、みり幼稚

園においても短調は「うれしいひなまつり」の1曲のみであった。

(2) 拍子とリズム

拍子においては図5で示すように4分の2拍子(89曲)、4分の4拍子(65曲)などの2拍子系の拍子(154曲)が多い。3拍子系(9曲)、そして8分の6拍子(3曲)などの複合拍子は少ない。その理由として、子どもや音楽初心者にはわかりにくい拍子であることが考えられる。日本人は農耕民族の血が流れているので2拍子系が染みついており、2拍区切りのリズムが得意であり、欧米人は騎馬民族で3拍子などのワルツのリズムが得意という説もあるが、科学的な裏付けはいまだ明らかになっていない。

また子どもの歌は規則的なリズムパターンを持っている場合が多い。例にあげると図6「うれしいひなまつり」、図7「かたつむり」、図8「たきび」のように簡単なリズムが何度も示される。この分析から子どもたちが覚えやすい4分音符や8分音符だからこそ歌詞を理解し幼児でも感情をこめ発音しやすい可能性がある。スキップのリズム^{注2)}が多用されることは、子どもたちがスキップをするような高揚感を表すことになる。音価が長い音は多くのエネルギーがあり短い音へ向かって弾けるような表現ができるのがスキップのリズムである。

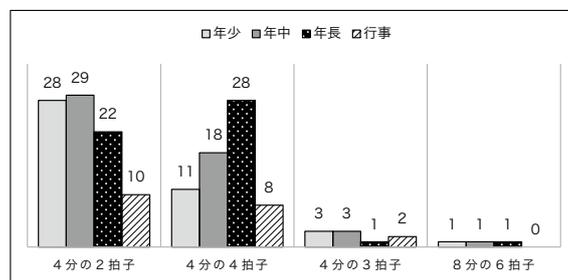


図5 子どもの歌の拍子分析(曲数)



図6 うれしいひなまつり(山野三郎作詞、河村光陽作曲)



図7 かたつむり (文部省唱歌)



図8 たきび (巽聖歌作詞, 渡辺茂作曲)

(3) 音域と声域

音域の分析に関しては、わかりやすく複音程^{注3)}で示し、表5の比較も完全・長・短などを省略し数字音程のみにした。

使われている音程幅は年齢に関係なく8度(1オクターブ)が多い。

表5 音域分析 (曲数)

	5度	6度	7度	8度	9度	10度	11度	12度
年少	1	6	0	30	5	0	0	0
年中	1	6	7	34	6	1	0	1
年長	0	6	4	22	11	6	1	1

年少から年長へ年齢が上がるほど音域幅の広い楽曲が登場してきているのも発声器官の発達と声域とが関係している。一般的に乳児の産声の高さが440Hz (a1) 前後といわれ、生後2か月ごろの喃語を話すころから広がっていく。

米山 (1998) は「生後6か月ごろには約1オクターブになり、滞在的声域能力であり無差別に発声するだけで意識的にコントロールして出しているわけではない」^{注3)}と述べている。また「3歳児は1オクターブ (a~a1) の調節可能な生理的音域で楽器に合わせて歌も歌えるようになり、5歳児になれば約1オクターブ半 (a~c2) になる。個人差もあるが小学校入学時には声帯も長くなり声域も少しずつ拡大していく」^{注4)}としている。

実際の現場で歌われている楽曲の最高音は図9に示したように年齢が上がる組ほど高いレ音やミ音が出てくる楽曲が増え、年齢とともに発声器官の発達と結びつくが、年少組においてもド音やレ音の比較

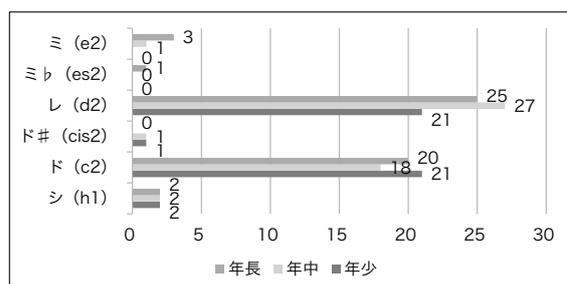


図9 子どもの歌の最高音 (曲数)

的高い音が含まれている楽曲が使われていることがわかる。声域に関する多数の先行研究から日高と横山 (2021) は「最高音が3歳はラ音 (a1), 4歳児はシ♭音 (b1), 5歳児はシ音 (h1) としている」^{注5)}とし実際に歌われている子どもの歌と声域は必ずしも当てはまらないものもみられ、身体的発達もあるが幼児一人一人の声への配慮が必要となる。

(4) テキスト

子どもの歌を実際に歌ってみると生き物や植物などの名詞・自然の描写・ポジティブな言葉、覚えやすい繰り返し語^{注4)}や言葉遊びができるオノマトペ^{注5)}などが多い。最近の楽曲はどうだろうか。現場で子どもたちに人気がある曲として「ツバメ」^{注6)}等、フリーソフト AI テキストマイニング^{注6)}を使用し楽曲のテキストを分析した。

図10は、印象に残る言葉を分析した結果である。言葉が中心に寄るほど、大きな字体になるほど印象に残る言葉であると AI が認識していることを示す。以前の童謡などではあまり見られないような「傷付ける」や「悲しい」といったマイナスな言葉も見

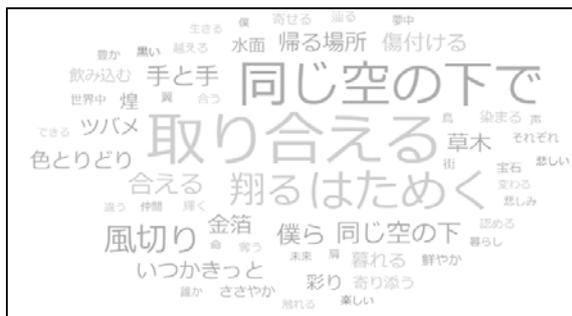


図10 ツバメ (スコア分析)

うけられるが、中心地には手と手を取り合える、同じ空の下で、はためく、翔るといった前向きな言葉が印象的である。

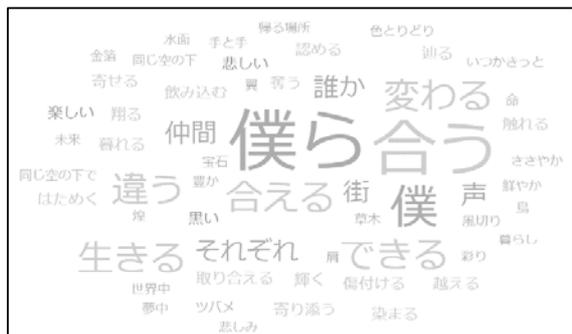


図11 ツバメ (単語の出現頻度)

次に図11は、頻度の高い言葉を分析した結果である。AI分析では中央によるほど、字体が大きいほど頻度の高い言葉であるが、僕ら、合う、仲間、生きるなど絆や共にといったプラスのイメージを受けるものが集まった。

では以前からよく歌われている童謡ではどうだろうか。AIテキストマイニング分析では比較的長めの歌詞が必要なので「手のひらを太陽に」^[27]を選択した。図12のテキストの中からAIが印象に残る言葉、図13の単語の出現頻度からもわかるように、みんな、ぼくら、生きているといったこちらも前向きな言葉が中心にあらわれている。昔から歌われている子どもの歌、現在好まれて歌われる子どもの歌も、助け合いながら前進するといったようなプラスな願いが込められていることには変わりない。

またもう一つは前述したように自然や物などわか

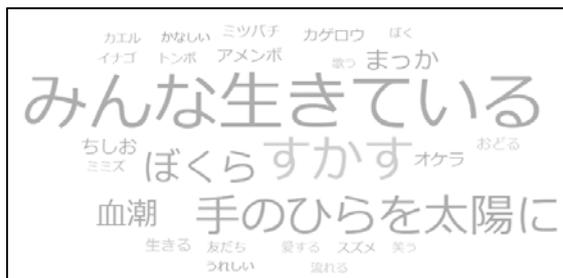


図12 手のひらを太陽に (スコア分析)

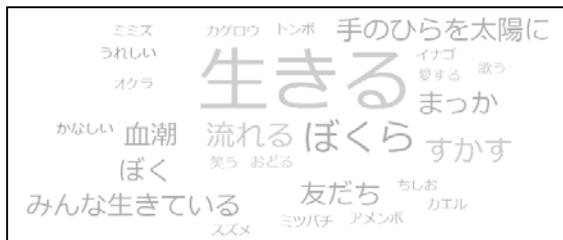


図13 手のひらを太陽に (単語の出現頻度)

りやすいテキストになっている曲もある。現場で人気のある「あめふりくまのこ」^[28]をみると、図14のように動詞はのぞく、すくう、名詞もさかな、はっば、おやまなど短い単語でリズムの繰り返しもあり、とてもシンプルでわかりやすい曲となっているのがわかる。

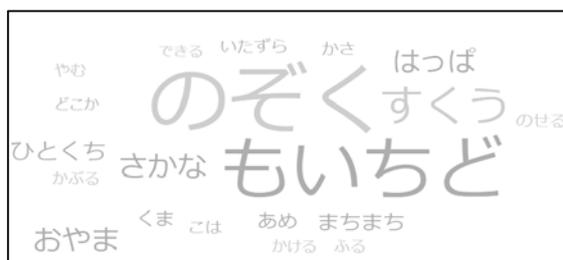


図14 あめふりくまのこ (スコア分析)

最近NHK-Eテレなどから童謡以外にJ-popなど拍子やリズムが比較的難しい子どもの歌が流れ、子どもたちが上手にダンスをしているのを目にする。前向きなメッセージは子どもたちにポジティブな感情を促し好奇心を刺激する作用があり、シンプルな単語は小さな子でも理解しやすく安心感を与える。

3. 考察

みのり幼稚園で歌われている楽曲を中心に調性、拍子、リズム、音域、テキストのメッセージ性などの分析を行った。

(1) 調性

調号の少ないハ長調、ヘ長調、ニ長調が中心の結果となった。これらの調性は伴奏が難しいと思われる子どもの歌においても、保育者がピアノで左手コード奏法を用い簡単に音取りや伴奏がしやすい。主要三和音^{注7)}が弾ければ曲としても成り立つようであり、前述のハ・ヘ・ニ長調は主要三和音も同じ左手ポジション（指番号）で弾くことができる。

(2) 拍子・テンポとリズム

拍子はわかりやすい2拍子系で歩行やゆりかごのように揺れの動きに関連づけ、親しみやすさから子どもたちが歌う拍子として導入しやすい。また童謡や子守歌などのように伝統的なものは文化に根差しており、2拍子系の拍子が古くからの楽曲に多い。リズムは同じリズムの繰り返しやスキップのリズムが使われ、子どもたちが簡単に覚えることができ曲にもりやすいと考える。

宮川（2018）は「音楽的表現の発達は1歳ごろから音楽に合わせ体をゆすったり弾ませたりする」²⁹⁾と述べており、小さいころから音楽表現はすでに始まっており、日常の環境のなかで子守歌や童謡、生活の中の音や遊びから育まれていく。

テンポにおいてはみのり幼稚園の楽曲一覧の場合、年齢層に関係なく♩=60~134の間の曲の教材が使われていた。60は秒針と同じテンポであるから、134は1秒を2つに打った速さより少し速いテンポであり、ノリやすい感じとなる。子どもたちがテンポにのって生き生きと体を動かす反面、歌いにくく雑になってしまいがちで音程や発音が不正確になる場合もある。子どもは楽譜からではなく、まず

は保護者や保育者など周りの大人から模倣して吸収していくものであるから、テンポを落としてあげ、より正確なリズムと音程で示す必要がある。

(3) 音域と声域

音域については、年間歌唱計画表があるみのり幼稚園では、年齢が上の組に高音が含まれる楽曲を持ってきてうまく配慮がされている。しかし年少組で使用の楽曲の一部、そして一般的に良く歌われている楽曲も実際の子どもの声域より幅は広い。楽曲のI主音^{注8)}、V属音^{注9)}、IV下属音^{注10)}、VII導音^{注11)}など楽曲構成音としての役割が深いこれらの音をなるべく含むほうが、曲としての表現の幅が広がることから1オクターブは必要であると考えられる。

筆者は、保育者が子どもの様子を窺いながら移調^{注12)}する方法もあり、また何度も大きな声で歌わせるのではなくテキストから保育者が内容を導きながら歌い方を変えてみるなどすれば問題ないと考えられる。

今回は保育者養成校や園で実際に使われている楽譜から分析に使用したが、それらの多くが子どもの最高音を超えていることがわかった。そのため場合において移調して調を下げるが必要であり、そうすれば最低音が子どもの可能な声域以下ギリギリになり歌いにくくなるであろう。例えば年少組でもよく歌われる「かたつむり」であるが、音域は1オクターブありレ1~レ2である。高音が出やすい音まで移調して下げても、今度は低音が歌いにくく地声でどなってしまふことがあるだろう。「ちょうちょう」や「ぶんぶんぶん」のように音域も比較的狭く簡単に移調することができる楽曲はよいが、声域にこだわりすぎて選曲すれば子どもたちが楽しんで歌える曲も限られてくる。あまり神経質にならず、例えば曲の内容からアプローチするべきではないか。音楽は感情表現の重要な手段であり、幼児にとって感情を理解し、表現する手助けをするよう「かたつむりさんは小さいので大きい声を張り上げるのではなく小さい声で歌ってみよう」、「ゆっくり進むからテンポもゆったり歌おう」のように歌わせるのも表

現としておもしろいのではないか。また「最高音が声域よりオーバーしているものでも子どもは楽曲のイメージや動きを持つことで自然と歌えている場合がある」³⁰⁾と桃井(2021)は述べている。

以前から歌われている童謡と違いメディアを通して広まる子どもの歌にはネガティブな言葉も使われているが、ネガティブさを打ち消すようにパワーみなぎる前向きな、仲間を思うよう気持ちを共有するような言葉も含まれていることが確認できた。

おわりに

歌唱計画表があるみのり幼稚園では音域、テンポなどに配慮した環境づくりがされているが、年少組でも一般的な子どもの声域より広い楽曲があるということが確認できた。筆者は声域より広い楽曲を歌わせることを否定するわけではなく、体の動きを使った歌い方や内容からのアプローチなど様々な方法で楽曲に触れ楽しむことが大切だと考える。

またわらべ歌は今でこそ楽譜に起こされているが、多くは作者不詳で日本語の抑揚とリズムから生まれ伝承されてきた歌である。音域も広くはなく、声域に関係なく歌う人独自にそれぞれが好きな音程、調(キー)で歌え、また手遊びや子守歌などお互いが触れ合いながら発する音楽であるからこそ、年齢が低い幼児にわらべ歌の活用が望まれると感じる。

この研究ではAIテキストマイニングを使用してテキスト分析を行ったが、テキストのイメージを視覚的に見ることができ、筆者は新鮮であった。他の楽曲にも分析を広め、今までと違った視点を歌唱指導に組み入れ、さらに表現の方法を広げることも今後の課題としたい。

子どもの歌は文化や伝統の一部であり、子どもたちの生活において重要な要素であり、楽曲分析から子どもの発声器官成長に適した歌か、そうでなければその楽曲のどのような点に目を向けるのか、その重要性を理解し保育現場で活かせる学生を育成したいと考える。

謝辞

本研究にあたり岡山県倉敷市にある学校法人みのり学園みのり幼稚園理事長の松井祥子先生にご協力いただきました。記して感謝申し上げます。

注

- 1) 昭和24年, 済興寺第15代覚道和尚により開園。昭和38年3月, 認可を受け「学校法人みのり学園みのり幼稚園」として設立された。
- 2)  タッカのリズム, ぴょんこ節ともいわれる。付点8分音符と16分音符の組み合わせで飛び跳ねているようなリズム。
- 3) オクターブ(完全8度)を超える音程。
- 4) 畳語ともいい, 物を折り返して畳むからきている。
- 5) 擬音語, 擬態着。物事の状態や動く音, 自然界の音などを表した言葉。
- 6) 文章を自然言語処理により, 出現回数や相関関係など分析するためのフリーソフト。
<https://textmining.userlocal.jp/>
- 7) 音階の主音, 下屬音, 属音をそれぞれ根音として作られた和音で, 調の中核をなしスリーコードともいう。ハ長調の場合C(ドミソ), F(ファラド), G(ソシレ)となる。
- 8) 音階を形成する第1音。調性を決める最も主要な音。
- 9) 主音の5度上の音。終止形を形成するうえで和声進行的に重要な音である。
- 10) 主音の4度上の音。主音, 属音と共に調を支配する重要な音。
- 11) 主音の半音(短2度)下の音で, 主音に導くような性質があり, 安定感をもたらす。
- 12) ある調の構造を変えずに違う調に上げたり, 下げたりすること。

引用・参考文献

- 1) 有道惇・津上崇「我が国における子どもの歌の

- 多様性について—明治時代からの変遷(1)—,『中国学園大学紀要』第6号(2007), pp. 183-193.
- 2) 千田耕太郎「幼児の歌唱指導について—考察— “大きい声の弊害” という観点から考える—」,『四條畷学園短期大学紀要』第50号(2017), pp. 57-65.
- 3) 日高まり子・横山祐里奈「幼児の歌唱声域と子どもの歌曲集の音域についての考察—あそび歌300曲の分析と通して—」,『宮崎国際大学教育学部紀要 教育科学詩集』第8号(2021).
- 4) 小林美実『こどものうた200』, チャイルド本社, 2006.
- 5) 小林美実『続こどものうた200』, チャイルド本社, 2009.
- 6) 小林美実『こどものうた100』, チャイルド本社, 2006.
- 7) 松山祐士『こどものうた名曲全集』, ドレミ音楽出版社, 2021.
- 8) 『保育の四季・歌のカレンダー』, エー・ティー・エヌ, 1998.
- 9) 『保育の四季・幼児の歌110曲集』, エー・ティー・エヌ, 2016.
- 10) 片岡博久『こどものための新装名歌曲200選』, ケイ・エム・ピー, 2015.
- 11) 大石みつ・下村幸・鳥居美智子『幼児保育のための楽しい歌とあそび』, 音楽之友社, 2020.
- 12) 松山祐士『簡易ピアノ伴奏のよる実用こどもの歌曲200選』, ドレミ音楽出版社, 2006.
- 13) 吉田梓『子どもとたのしむ童謡カレンダーVol. 1』, 音楽之友社, 2022.
- 14) 長井春海『みんなでうたおうこどものうた1』, 全音楽譜出版社, 2004.
- 15) Piascore 楽譜ストア, <https://store.piascore.com/scores/217771> (2023.09.14).
- 16) 坂田おさむ『保育で使えるこどものうた230曲』, リットーミュージック, 2021.
- 17) 東保『やさしくひける幼児のうた』, チャイルド本社, 2016.
- 18) 鈴木布美『なみだとえがおの卒園ソング』, ケイ・エム・ピー, 2018.
- 19) 早川史郎『幼児の四季』, 日音楽譜出版社.
- 20) KAO ビオレU, <https://www.kao.co.jp/bioreu/family/hand/song/> (2023.09.14).
- 21) 吉松隆『調整で読み解くクラシック』, ヤマハミュージックエンタテイメントホールディングス, 2014, p. 45.
- 22) 前掲書 21), p. 173.
- 23) 米山文明『声と日本人』, 平凡社, 1998, p. 86.
- 24) 前掲書 23), p. 87.
- 25) 前掲書 3), p. 112.
- 26) Ayase 作詞・作曲, YOASOBI, 『ツバメ』, <https://www.print-gakufu.com/score/detail/486393/> (2023.9.20).
- 27) やなせたかし作詞, いずみたく作曲, 「手のひらを太陽に」『保育の四季・幼児の歌110曲集』, エー・ティー・エヌ, 2016.
- 28) 鶴見正夫作詞, 湯山昭作曲, 「あめふりくまのこ」『保育の四季・幼児の歌110曲集』, エー・ティー・エヌ, 2016.
- 29) 今泉明美・有村さやか「子どものための音楽表現技術」, 萌文書林, 2018, pp. 127-128.
- 30) 桃井佳称子「幼児向け楽曲における使用音域と幼児の声域との関連についての考察」,『明治学院大学大学院文学研究科芸術学専攻 Bandaly』, 第20号(2021), pp. 81-82.